

特集 くまもとの農林水産業を支える元気な力!

山で、海で、大地で、 元気な笑顔がはじけます!

わたしたちの暮らしをもっと元気に、もっと豊かに!
熊本の農林水産業の未来を担う人や企業をご紹介します。

愛情いっぱい育てた
トラフグ、食べてみませんか!



はまぐち だいき 山口 大樹さん
わたなべ たくや 渡辺 拓也さん

たくさんの人に 自慢のトラフグを届けたい



やました たけひろ 山下 雄大さん(上天草市)

トラフグの養殖は自然が相手です。愛情を注いだトラフグがすくすく大きくなる姿を見ると、そんな苦労も忘れてしまいます。

このトラフグを皆さんに安心して食べていただきたいとの思いで、安全の証である熊本県適正養殖業者の認証を取得しました。

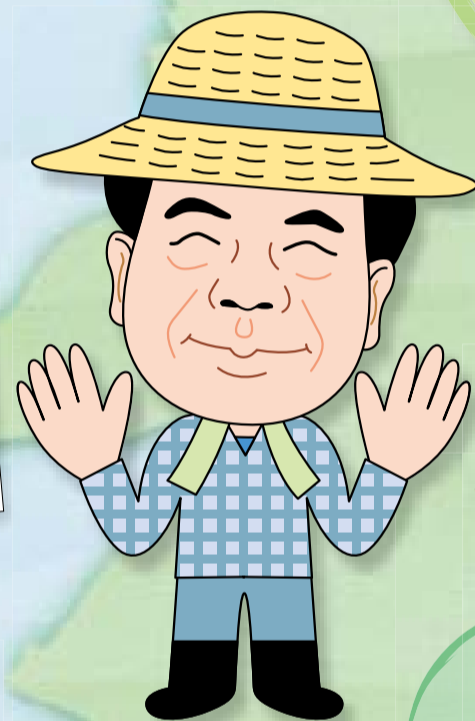
また、皆さんの元へ直接お届けできるようにふぐ処理師の免許を取得し、鍋セットなど加工品の直販にも取り組んでいます。これからもお客さまからの声を励みに加工品の直販を拡大し、より多くの方に自慢のトラフグを味わっていただきたいです。



新しい漁村を担う人づくり事業

県が認定する漁業士など、浜のリーダーとなる人材を積極的に支援し、将来の漁村を担う漁業者を育成するための取り組みを行っています。

■お問い合わせ先/水産振興課 ☎096-333-2457



かばしま知事



毎日畑に出て、
充実しています!

企業 では

農業参入を地域の発展につなげたい

いむら たつお 株式会社 吉永商会 常務取締役 岩村 龍男さん(水俣市)

うちの会社では、水俣・芦北地区を拠点に生ゴミなどを原料にした、たい肥を製造し販売しています。耕作放棄地の活用や雇用促進にもなるし、わたしたちが作るたい肥の良さも知ってもらえると思ったのが農業に参入した理由です。

行政やJAの協力も得て、昨年8月から芦北町で農業を始めました。生ゴミからたい肥を作り、そのたい肥で作物を育てるリサイクルループの確立が目標です。

今年度から芦北高校を卒業した法花津君が農事部の社員となり、がんばってくれています。これからも農業参入が地域発展につながるようがんばっていきます。



ほつづつ としや 法花津 敏也さん

企業等農業参入支援事業

地域との調和を図りながら、農業に参入しようとする企業などを総合的に支援します。

■お問い合わせ先/担い手・企業参入支援課 ☎096-333-2377

毎日元気に山へ! 健康な山が良い木を育てます



むらかみ しょうはち 村上 正八さん(菊池市)

わたしがいる地区は農林業に従事する後継者が多く、活気があります。竜門林業研究クラブには会員が27人で、定例会では、木材や技術向上について意見交換などを行っています。

林業は危険な仕事というイメージがあるかもしれませんが、山を理解してきちんと手順を踏んだ作業をすれば、怖いことはありません。手入れの行き届いた、光が差し込む良い山をつくれれば良い木材ができるし、山や木材が自分の「足跡」になってずっと残っていくことに誇りを感じます。椎茸も栽培しており、質の良い原木を使ったおいしい椎茸を消費者に届けたいとがんばっています。

自然の木が持つ
温かみが大好きです!

ふみこ 文子さん



林業担い手の確保・支援

新規就業者に対する広報や就業促進活動、中堅林業者向けの林業技能作業士養成研修などにより、林業担い手の育成・定着を進めています。

■お問い合わせ先/林業振興課 ☎096-333-2446



がんばった分 自分に返ってくるのが農業です

のぐち だいき 野口 大樹さん(御船町)

お茶は、栽培はもちろん、製造にも気温や湿度がかかわる難しい仕事です。どうすれば深い香りと味、美しい色が出せるのか、試行錯誤の連続。そんな中でお客さまの「おいしい」という声は大きな励みになっています。お茶の全国大会で農林水産大臣賞をとり、日本一のお茶農家になるのが目標です。

現在は、上益城青年農業者クラブの会長も務めています。農業にもビジネス知識や人脈は大切なので、月に1回集まり勉強会などを行っています。がんばった分だけ自分に返ってくる、厳しいけれどやりがいがあるのが農業だと思っています。



青年農業者育成対策

研修会の開催や技術研さんなど青年農業者の自主的な学習活動の推進、消費者との交流などの社会活動を支援します。

■お問い合わせ先/担い手・企業参入支援課 ☎096-333-2382



今年も、おいしいお茶が
できました!

たくや ゆいか 拓哉さん
ゆいか るみこ 唯夏ちゃん
かずよ 留美子さん
だいき 和代さん 大樹さん

県政 トピックス

TOPIC

水俣病被害者の 救済について

現在、県では、水俣病被害者の方に対する新たな救済の申請を受け付けています。救済の対象となる方は、かつて水俣湾またはその周辺水域の汚染された魚などをたくさん食べた方のうち、手先・足先などに感覚障がいのある方です。救済の対象となった方には、一時金や療養手当、医療費の自己負担分などが支給されます。詳しくは、お電話でお問い合わせください。

■お問い合わせ先/水俣病保健課 ☎096-333-2306
ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/548/>

みんなで防ごう土砂災害



6月は土砂災害防止月間です。梅雨に入ると雨が多くなり、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害が起こりやすくなります。

土砂災害から身を守るためには、日ごろから周囲の危険な場所や避難場所、避難経路を確認しておくとともに、気象情報や市町村からの防災情報に注意し早めの避難を心がけましょう。

県内の土砂災害危険箇所や雨量・河川水位情報などは県のホームページで確認できます。

■お問い合わせ先/砂防課 ☎096-333-2553

熊本県防災情報ホームページ 熊本県防災情報 検索

梅雨に備え、『熊本県防災情報 メールサービス』に登録を!

県では、大雨、洪水、土砂災害などの危険性が高まった場合に、皆さんの携帯電話へメールで情報を配信しています。皆さん、そしてご家族の生命、財産を守るため、ぜひ登録をお願いします。

登録方法 entry@anshin.pref.kumamoto.jp
に空メールを送信し、返信されたメールの指示に沿ってください。

■お問い合わせ先/危機管理・防災消防総室 ☎096-333-2115

耕作放棄地の解消を目指して!

耕作放棄地を再生し、活用するために必要な草木の除去や耕起、肥料の投入などに対し、10アール当たり2~10万円を助成し、また、今年度から新たに「イエロープロジェクト」を開始します。また、今年度から新たに「イエロープロジェクト」を開始し、新幹線沿線などの農地に景観作物(菜の花など)を植え付ける場合、10アール当たり1万円を助成します。

■お問い合わせ先/農地・農業振興課 ☎096-333-2376



耕作放棄地復元前 耕作放棄地復元後
耕作放棄地解消110番ホームページ 耕作放棄地110番 検索

口てい疫について 県では、一般道での車両の消毒、畜舎とその周辺での消毒など防疫対策を実施しています。県民の皆さんのご理解と積極的なご協力をお願いします。口てい疫は、牛や豚などの病気で、人に感染することはありません。また、感染した牛や豚の肉、牛乳が市場に出回ることはありませんが、万が一このような肉などを食べたとしても人体に影響はありません。

詳しい情報は熊本県のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。
熊本県ホームページ 検索 ■お問い合わせ先/畜産課 ☎096-333-2401